

令和元年度決算の概要

地方公会計制度に基づく財務諸表などを活用した一般会計決算を3日間集中審査

一般会計決算は、17名で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査しました。

また、特別会計決算は市民厚生委員会、公営企業会計方式となった下水道事業会計決算は建設環境委員会で審査し、それぞれ原案のとおり認定されました。

一般会計決算の審査から

新型コロナウイルス感染症の決算への影響について

問 新型コロナウイルス感染症の決算への影響は。
答 令和2年2月頃から感染症の影響とみられる納税相対が増加し、納付額の減少傾向が始まった。収納率も前年度から微減したが、収入済額は課税額の増や早期の徴収活動により前年度比1億709万円の増。歳出では衛生対策や補助金等に1811万円を計上したが、うち1258万円が国庫支出金で措置された。総じて、財政的な影響は最小限で済んでいる。

総合計画策定事務について

問 福生市総合計画（第5期）策定のコンセプトや苦心した点などを伺う。
答 福生のまちづくりを担う市民と職員に向け、市民目線を大切にし、利用しやすい総合計画となるよう努めた。福生市の個性、計画の推進による未来など、代表的な情報をインフォグラフィックで表し、また、ユニバーサルデザインを活用し、

投票率向上のための取り組み

問 投票率向上に向けた選挙管理委員会の取り組みについて伺う。
答 選挙の投票率向上のための啓発活動として、

見やすい計画となるよう努めた。策定に3年かかり、協議やヒアリングが必要な内容が非常に多かった。

防災行政無線(移動系)施設改良工事の内容について

問 アナログからデジタルに更新されたとのことだが、改善点及び利便性を伺う。
答 デジタル化により通信時に複数チャンネルの設定が可能となり、有事の際に市職員間の通信と消防団員間の通信を切り分けるなど、用途別にすることで無線の混信を解消できる。併せて、市役所内線電話へ乗り入れ可能となり、平時においても無線機と庁内電話との通信が可能となる。

総合窓口の番号発券機について

問 年度末に導入された総合窓口の番号発券機について、運用状況を伺う。
答 官民連携で設置しており、広告収入で設置運用の費用が賄われている。手続内容別で順番が明確となり、受付の分散ができ、庁内の混雑緩和が図れている。また、新型コロナウイルス感染症の対応で、今年3月よりカウンターやポールペン等の消毒作業を行っているが、使い回しの番号札の消毒作業が不要となり、改善

商店街チャレンジ 戦略支援事業費 補助金の内容

問 補助金521万6千円の内容を伺う。
答 7商業会等12事業が実施された。文化・歴史や環境対策等に資するイベント事業は10事業、施設整備販売促進等の商店街活性化事業が1事業で、案内看板の書き替えを実施。多言語対応事業が1事業で、3か国語表記の商店街案内看板を作製した。

テレビ電話多言語通訳サービスについて

問 子育て世代包括支援センターでの利用の傾向や課題等を伺う。
答 オペレーターが待機し、対応できる言語であれば、突然の来所でも妊娠から子育て期の適切な情報が提供できるようになった。通訳者の同伴なしでもやり取りが可能となり、より詳細に妊婦や保護者から聞き取りができる。課題としては出産や子育てに対する文化の違いなどへの対処や、情報の行き違いを防ぐ丁寧な聞き取りと早めの支援がある。

子ども応援館ふれあい広場の床張り替え工事について

問 工事期間中の対応、

工事後の利用者の反応について伺う。
答 市広報、ホームページなどで周知し、16日間の利用停止期間中は、各児童館の子育て広場の利用をご案内した。工事後は、明るい色の床材で広場全体が明るくなった。また、滑りにくく、転倒してもけがをしにくい衝撃吸収性の高い床となり、より安全に安心して遊ばせることができるようになった。また、長時間の利用が増えた印象を持っている。

福生駅西口地区公共施設整備調査検討事業への交付金の活用について

問 官民連携事業の補助金が使えず、一般財源で補正予算が組まれたが、決算では市町村総合交付金を活用した経緯を伺う。
答 国土交通省の官民連携事業の補助金を申請したが、不採択となった。一方で、福生駅西口地区の整備を進める公共施設は、官民連携で先進性を持った複合施設を目指すことが東京都市町村総合交付金の地域特選事業の

持続可能な社会づくりに向けた教育推進校事業について

問 事業の詳細を伺う。
答 持続可能な社会づくりに向け、自然環境や地域・地球規模等の諸課題を自らの課題として解決する能力や態度の育成を目的とし、都教育委員会から福生第五小学校が指定され、2年間の実践研究を行っている。必要な力は、批判的に考える力、

趣旨に合致したことから、申請を行い交付金の活用に至った。

未来像を予測し計画を立てる力、多面的・総合的に考える力等で、身近なところから課題を把握し問題解決的学習に取り組むことが大切である。

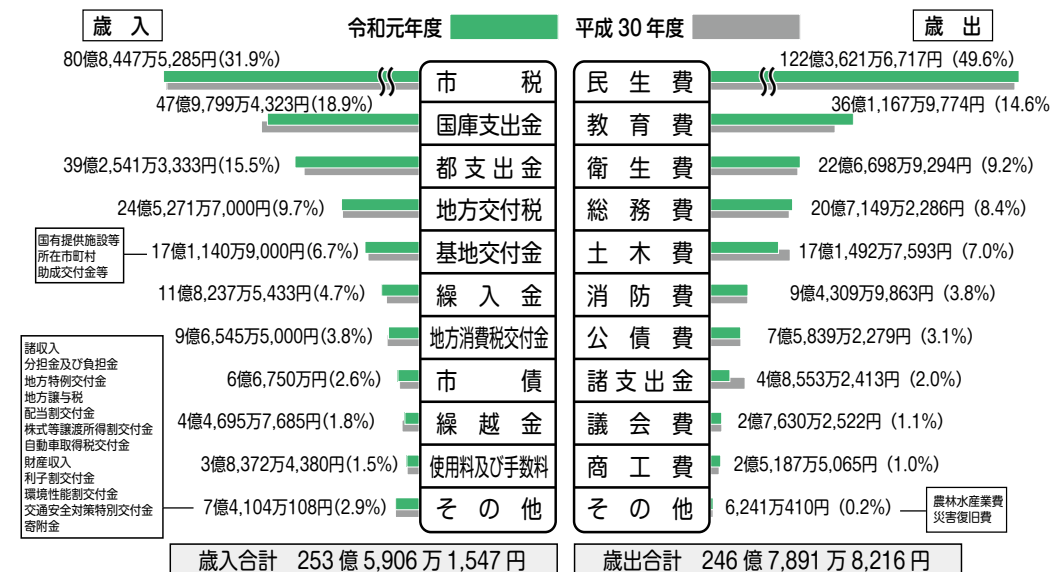
令和元年度 会計別決算額

| 会計区分 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 残額(翌年度繰越額) | |
|------|-----------------|-----------------|----------------|--------------|
| 一般会計 | 25,359,061,547円 | 24,678,918,216円 | 680,143,331円 | |
| 特別会計 | 国民健康保険特別会計 | 6,798,428,358円 | 6,547,801,688円 | 250,626,670円 |
| | 介護保険特別会計 | 4,380,902,704円 | 4,179,723,343円 | 201,179,361円 |
| | 後期高齢者医療特別会計 | 1,248,639,583円 | 1,227,497,060円 | 21,142,523円 |
| 合計 | 37,787,032,192円 | 36,633,940,307円 | 1,153,091,885円 | |

下水道事業会計 ※令和元年度より公営企業会計に移行

| | 収入決算額 | 支出決算額 |
|-------|----------------|----------------|
| 収益的収支 | 1,563,594,957円 | 1,302,021,011円 |
| 資本的収支 | 380,654,720円 | 983,427,561円 |

令和元年度 一般会計決算の款別内訳



▲令和元年度一般会計決算を起立多数で認定